



ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 1 月 第 23 号

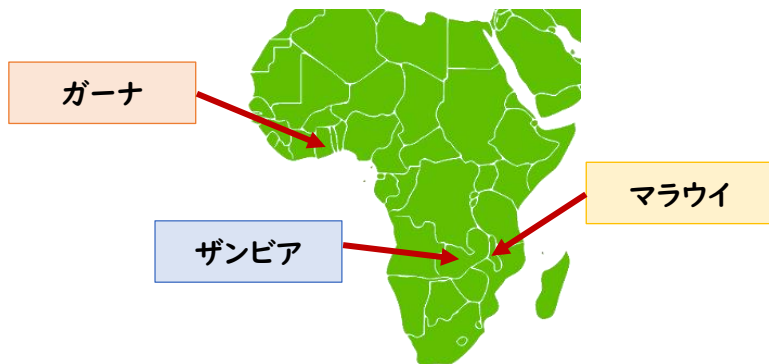
平山小学校のみなさん、新年あけましておめでとうございます。新しい年が始まりましたね。この 1 年
間がみなさんにとって意味のある 1 年でありますように。私もみなさんに負けないように頑張ります。

さて、ナミビア通信第 2 号でも少し紹介しましたが、私と同じように JICA 海外協力隊として活動して
いる日本人はナミビア以外の国にもたくさんいて、皆それぞれ自分の専門分野を活かして活動しています。

そこで今日は、JICA 海外協力隊としてナミビア以外の国で活動している仲間の活動を紹介します。

(※内容がおさまりきらなかったため、今回はアフリカ編、次号はアジア編として紹介します！)

世界中で活動する JICA 海外協力隊 (アフリカ編)



- ① 名前 (なまえ)
- ② 国名
- ③ 職種 (専門分野)
- ④ 主な活動内容
- ⑤ 活動の中で嬉しかったこと
(やり甲斐を感じたこと)

① 前山 和 (まえやま なごみ)

② マラウイ共和国

③ 障害児・者支援



④ 小学校の特別支援学級の生徒に基礎科目はもちろん、挨拶や買い物学習、裁縫などの
自立活動の授業を行っています。支援級の授業のあとは通常級へ生徒と一緒にいき、授業
のサポートをしています。地域の肢体不自由児の家へも訪問し、リハビリや遊びを取り入れ
て関係づくりをしています。

⑤ 学校外でも子どもたちが名前を呼んでくれたり、毎日の授業の様子を彼らなりに保護者に
伝えてくれていることを知ったりしたときは嬉しかったです。できなかったことが、自分たちの
ペースでできるようになっていく手伝いができていることにとてもやりがいを感じています。

① 成相 翔太 (なりあい しょうた)

② ザンビア共和国

か ち く し い く
③ 家畜飼育



④ 農業短期大学で附属農場の改善に関する活動をしています。学生達にとってこの農場は
教材なので、家畜や餌、畑等の管理徹底と質の向上を推進しています。また、学生を対象
にした日本語教室や近隣の教育施設(学校に行けない子供達のための施設)の子供達を
対象に農場を活用した農業に関する授業も行っています。

⑤ ある日1人の女子学生が手作りのブレスレットをプレゼントしてくれました。彼女は以前この
作り方を日本人ボランティアから教わり、日本人へ恩返しのため私にプレゼントしてくれ
たそうです。私も人の心に残るような活動ができるように頑張ろうと思いました。

① 山田 都 (やまだ みやこ)

② ガーナ共和国

り か
③ 理科教育



④ 幼稚園・小学校・中学校(英語科・現地語科・家庭科)教諭を養成するカレッジで、日本の
大学1年生にあたる生徒に理科やその指導法を教えています。ガーナ国内の地域学校で
出張科学教室を開催し、幼小中の児童生徒に理科の面白さを伝えています。また現職の教
員に理科や算数の教科指導のワークショップ等を開催しています。

⑤ 具体物を使用した授業を実施した際、生徒自身が楽しんで理科の授業に取り組んでいたと
きです。また理論と実践で現地教員と分担して授業をしているので、互いの足りないところ
を補いながら授業をし、生徒の成績があがったり、授業を工夫し継続的に指導したことで
試験中の不正行為が減ったりなど教員としての資質能力向上を実感したときです。

活動の様子を紹介してくださった協力隊の仲間たちに感謝します！ 次回はアジア編！お楽しみに！